



心も体も元気な子



R8.2.13

今治市立亀岡小学校長 柚山 明

以前の学校便りでお伝えしたように、亀岡小学校は目指す子どもの姿として、「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「心も体も元気な子」を挙げています。

2月の全校朝会では、「心も体も元気な子」になるために「四国一周マラソン」と「外遊び」にしっかり取り組もうという話をしました。

四国一周マラソンは、亀岡小学校で50年近く続いており、児童の基礎体力や根気を育てるために有効です。四国一周は約1000kmあり、フルマラソンを約23回走ると同じ距離になります。今の時点で、高学年の二人が四国一周を達成しています。6年生は、小学校生活が残り1か月余りとなっているため、一人でも多く達成してほしいです。

また、外遊びをすると、体のいろいろなところが鍛えられます。鬼ごっこは、素早く走ったり止まったりすることで、足の力が高まります。ドッジボールは、ボールを投げたりとったりすることで、腕や肩が強くなります。登り棒や雲梯は、握力がつきます。ブランコやタイヤ天国は、体が大きく揺れることで、バランス感覚が鍛えられます。さらに、外遊びは、友達と一緒にすることが多く、ルールを守ったり協力したりする必要があるため、心もたくましくなります。

これからも、四国一周マラソンと外遊びに取り組む、心も体も元気な子になってほしいです。

亀岡小「学習発表会」・亀岡地区文化祭

学習発表会では、生活科や総合的な学習の時間に学んだことを発表しました。1・2年生は、動くおもちゃを作るときに工夫したことや、おもちゃを使った遊び方について、写真や動画で詳しく説明しました。実際におもちゃを使う場面もあり、見ていて楽しかったです。3年生は、地域の伝統行事について、自分たちが体験したことを交えながら大きな声で発表しました。10人で協力して道具を作ったり練習をしたりする中で、学級の団結力も高まりました。4年生は、地球環境を守るために、ゴミ問題について真剣に考えました。ゴミを減らすために、自分にできること、今日から取り組めることが、よく分かりました。発表方法がおもしろく、引き付けられました。5・6年生は、自分や家族の命を守るために、防災学習でたくさんの知識や技能を学びました。今回の発表で、災害に備えることの大切さを、下級生や地域の人に広めることができ、亀岡地区全体に防災のバトンが繋がりました。全校合唱では、先輩たちが残してくれた歌「ふるさと」を、美しくきれいな声で合唱しました。子どもたちの歌声を聴き、改めて亀岡の良さに気付きました。



学習発表会と並行して実施された亀岡地区文化祭も大いに盛り上がりしました。児童は、発表会の後、亀岡小PTAが提供するバザーで、うどんをいただきました。役員さんを中心に3日前から準備してくださり、何十年も受け継がれてきた伝統の出汁で作られたうどんは、とてもおいしかったです。また、5・6年生が、うどんの配膳を手伝い大活躍しました。ほかにも、地域の方が、全校児童にもちつき体験をさせてくださったたり、くじ引きや地域の特産品のバザーをしてくださったりして、子どもたちは大喜びでした。

お世話になった地域、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

